

平成28年度第3回第十小学校通学区域  
地域みんなでまちづくり会議 意見交換会 記録

平成28年10月4日

中原自治会

- 今年は資金不足等により、夏まつりをやらず会員の親睦を目的として納涼会を実施した。
- 防災意識を高めるため、「望彩茶屋」を月に1回行っているほか、ワンコインランチなども行い、親睦を深める場所を作っている。
- 自治会内には、絵手紙、編み物、歌のサークルがある。
- 自主防災組織に力を入れている。
- 自治会内では高齢化が進んでおり、コミュニティを作れるように色々試案している。皆さん防災に関することに一番関心が強い。

武蔵村山高校

- 平成28年4月から校長が変わった。
- 特に中学生への広報を行う必要があり、「村校ニュース」を今年度4回発行した。
- 読書活動が盛んである。
- 地域の方から自転車マナーについてご指摘をいただくことがあり、交通安全指導を行っている。
- 宿泊を伴う防災訓練を、中原自治会にも御協力をいただき実施した。
- 大学との連携に力を入れており、東京経済大学、杏林大学、女子栄養大学と協定を締結している。他の大学とも積極的に連携を進めていきたい。
- 高校の取組について、地域に積極的に発信し、連携していきたい。

十小PTA

- 中学、高校、西部地区おやじの会等と連携しながら各種事業を行っている。
- 見守り番の皆さんにも日ごろからお世話になっている。

五中PTA

- 地域の皆さんの御協力により、五中フェスティバルを実施した。
- 二、八、十小のPTAや青少対と協力し、各種事業を実施している。
- 武蔵村山高校の生徒に学習指導をサポートしていただいている。

青少対

- 地域清掃、みかん狩りなどの体験学習を通して子どもの健全育成を図っている。

#### 中藤保育園「白樺」

- 自治会などにも呼びかけ、運動会を実施した。
- 民生委員の御紹介で、残堀寿会の方に盆踊りを踊っていただき、大変好評だった。

#### 聖光三ツ藤保育園

- 卒園生は二、八、十小に入学する子が多い。
- 小、中、高校とは様々な交流をしている。

#### 民生・児童委員

- 高齢者や子どもを見守っている。
- 分野ごとに部会があり、様々な活動をしている。
- 担当する地域が広すぎるため、いきわたらない部分もある。

#### 社会福祉協議会

- 7つの事業所があり、地域福祉の推進を目的として様々なサービスを実施している。

#### 更生保護女性会

- 犯罪予防とコミュニケーションづくりを目的として、刑務所や少年院等を訪問している。
- 品物を作り、社協バザーなどで販売している。

#### 西部包括支援センター

- 市高齢福祉課から委託を受け、伊奈平苑が運営している。
- 高齢者の総合相談窓口として、社会福祉士、主任ケアマネ、介護福祉士の資格を持った職員が常駐している。
- 地域とのネットワークづくりが必要であり、中原自治会とは連携を取っている。
- 地域ケア会議への出席や認知症サポーター研修などを行っている。
- 高齢者の居場所づくりが必要であると感じているが、場所の問題があり、自治会との連携が取ればありがたい。

#### 岸自治会

- 十小地域の会員は数世帯に減少してしまった。
- 毎月第一土曜日にはグラウンドゴルフを行っており、毎回40人近くの参加がある。
- 防犯パトロールを月に2回行っており、20人くらいの参加がある。
- 12月の2週目には、防災館への見学会を予定している。
- その他、駅伝大会への参加、研修旅行、資源回収などを実施している。

#### 岸長寿会

- 月6回カラオケを行うなど、健康福祉の増進と余暇を楽しむことを目的として毎日のように活動している。
- 7割近くが女性であり、75歳くらいの方がメインで活動している。

#### 残堀寿会

- 市老連から教えてもらいながら、あらゆる軽スポーツや行事を行っている。
- 会費は月100円であり、平日のみ活動している。
- 「老人」や「シニア」の名前がよくないのか、会員が減っている。
- 女性が多い。

#### 中原寿会

- 自治会が脳トレなどに力を入れており、包括などとも協力しながら活動している。
- サークルが6つある。
- 活動するには場所代がかかり負担である。

#### 見守り番中原

- 今年初めて、入学式から1週間、登校の付き添いをした。
- 下校時には安全指導を行っている。
- 会員向けにAEDの講習を行っている。
- 会員数が少なくて困っている。

#### 十小学校運営協議会

- 本会議とも通じるものがあり、地域の方々がもつ知識や技術を学校に生かすためのパイプ役を担っている。
- 見守りや読み聞かせなどを地域の方々が手伝っている。
- 地域と学校のつなげ方が難しく、企画が上がってもPTAがメインで動くことになる。連携の取り方が難しいがうまく連携したい。

#### 五中学校運営協議会

- 地域と学校で構成しており、3つの部会から成り立っている。
- 生活部会では、地域の見守りを月1回行い、毎回20人程度の参加がある。また、学校の芝刈りも行っている。
- 地域連携部会では、職場体験の受入れ先の確保や五中フェスティバルの運営などを行っている。
- 学習部会では、夏休みの補習時に武蔵村山高校の生徒や五中の卒業生にお手伝いいただいており、そのコーディネートを行っている。
- 中学3年生向けに面接の練習を行っており、面接官を担っている。

## 情報交換

(十小学校運営協議会)

- 地域の方々との接点がなく、人材を発掘できない。まちづくり会議に人材に関する相談をすることは可能か。

(まちづくり会議)

- まちづくり会議としても、コミュニティづくりが課題であると感じているので、検討していきたい。

(五中学校運営協議会)

- 職場体験の受入れ先を探すに当たっては、できれば市内の方々をお願いしたいが難しいので、市外に出ている。地域内で受入れ場所がないか情報がほしい。
- 補習授業などにおいても、先生のOBとかにきてほしい。
- 地域の中での助け合いが重要であり、本会議でまとめていただくとか、人材バンクのようなものを作るなどの検討をしていただきたい。

(まちづくり会議)

- 地域コミュニティ活性化のため、検討していきたい。